社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年09月24日

計画の名称	朝日町における快適で安全・安心して暮らせる住まい計画（第３期）												
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	朝日町												
計画の目標	朝日町における快適で安全、安心して暮らせる住まいづくりを実現するために、地域における多様な住宅ニーズを的確に対応した住宅を供給するとともに良好な居住環境を整備する												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	321	A	321	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3	R５	R７
1	公営住宅の長寿命化計画に基づき、長寿命化達成率を７５％から９６％に引き上げる			
	居住者ニーズ（安心・安全）に的確に対応した公営住宅の長寿命化対策を実施した整備棟数を基に算出する 現行の長寿命化計画における長寿命化対策の実施済み棟数÷現行の長寿命化計画における長寿命化対策が必要な棟数	75%	96%	96%
2	老朽危険家屋等の撤去戸数を１３戸から１８戸に増加させる			
	老朽危険家屋等の撤去件数	13戸	15戸	18戸

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000777167

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	朝日町	直接	朝日町	－	－	公営住宅ストック総合改善事業	長寿命型８棟、居住性向上型８棟	朝日町	■	■	■	■	■	317		策定済
	A15-002	住宅	一般	朝日町	間接	朝日町	－	－	空き家再生等推進事業	老朽危険家屋等撤去促進事業	朝日町	■	■	■	■	■	4		策定済
											小計						321		
											合計						321		

案件番号：　0000777167

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
朝日町にて評価を行い確定	令和８年９月
	公表の方法
	朝日町のホームページにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧を可能としている。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・公営住宅の屋根の防水工事を行い、劣化を防ぐ長寿命化を図った。 ・公営住宅の外壁工事を行い、防水性を高めるとともに劣化を防ぐ長寿命化を図った。 ・公営住宅の共用部における照明のＬＥＤ化を行い、耐久性の向上及び維持管理費の削減を行った。 ・公営住宅の貯水槽を耐震性に優れたものに更新し、耐久性の向上を行った。 ・公営住宅の排水処理を下水道に接続し、居住環境の向上を行った。 ・老朽危険家屋の所有者へ助言及び撤去を促し、周辺住民の安心安全の確保、住環境の改善を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・公営住宅の改修により、住環境が向上し、入居者からも喜ばれている。

○特記事項（今後の方針等）

・今後も引き続き、公営住宅等の安全・安心な住まい環境の改善に努める。

案件番号： 0000777167

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	整備済棟数÷計画棟数×１００		
	最　終 目標値	96%	
	最　終 実績値	96%	
2	老朽危険家屋の撤去数		
	最　終 目標値	18戸	危険家屋の撤去費に対する補助を希望する方が計画よりも１戸多かったもの
	最　終 実績値	19戸	

案件番号：0000777167

（参考図面）

計画の名称	朝日町における快適で安全・安心して暮らせる住まい計画（第3期）		
計画の期間	令和3年度　～　令和7年度　（5年間）	交付対象	朝日町

